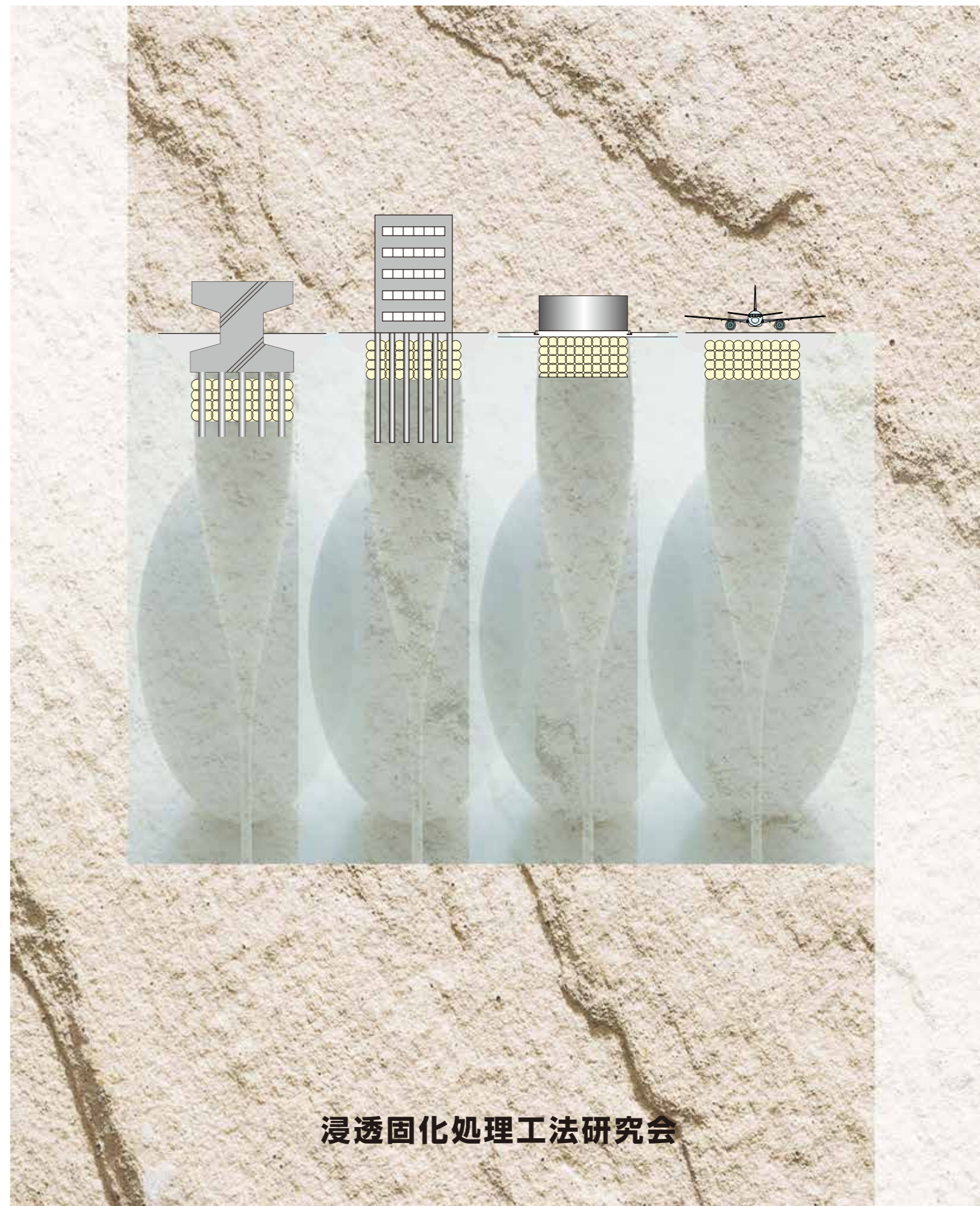


既設構造物の液状化対策
浸透固化処理工法



正会員

あおみ建設株式会社	〒101-0021	東京都千代田区外神田 2-2-3	TEL03 (5209) 7868
株式会社安藤・間	〒107-8658	東京都港区赤坂 6-1-20	TEL03 (6234) 3681
株式会社大林組	〒108-8502	東京都港区港南 2-15-2	TEL03 (5769) 1302
株式会社奥村組	〒108-8381	東京都港区芝 5-6-1	TEL03 (3454) 8111
鹿島建設株式会社	〒107-8348	東京都港区赤坂 6-5-11	TEL03 (5544) 0672
株木建設株式会社	〒171-8560	東京都豊島区高田 3-31-5	TEL03 (3984) 4114
五洋建設株式会社	〒112-8576	東京都文京区後楽 2-2-8	TEL03 (3817) 7572
清水建設株式会社	〒104-8370	東京都中央区京橋 2-16-1	TEL03 (3561) 3916
大成建設株式会社	〒163-0606	東京都新宿区西新宿 1-25-1	TEL03 (5381) 5414
東洋建設株式会社	〒101-0051	東京都千代田区神田神保町 1-105	TEL03 (6361) 5462
西松建設株式会社	〒105-6407	東京都港区虎ノ門 1-17-1	TEL03 (3502) 7640
株式会社不動テトラ	〒103-0016	東京都中央区日本橋小網町 7-2	TEL03 (5644) 8531
みらい建設工業株式会社	〒108-0014	東京都港区芝 4-6-12	TEL03 (6436) 3719

賛助会員

株式会社大阪防水建設社	〒543-5621	大阪市天王寺区鯉差町 7-6	TEL06 (6762) 5621
ケミカルグラウト株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門 2-2-5	TEL03 (5575) 0511
五栄土木株式会社	〒135-0063	東京都江東区有明 3-7-26	TEL03 (5564) 2413
ライト工業株式会社	〒102-8236	東京都千代田区九段北 4-2-35	TEL03 (3265) 2456

浸透固化処理工法研究会事務局
 〒112-8576 東京都文京区後楽 2-2-8 五洋建設(株) 土木企画部内 TEL03-3817-7572

浸透固化処理工法研究会

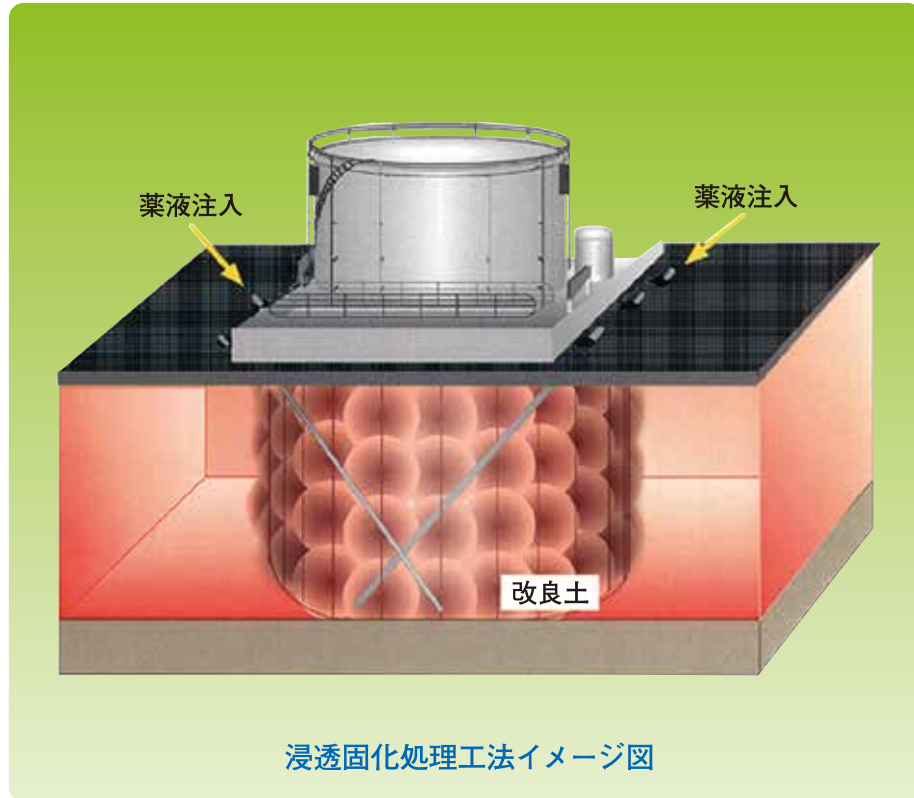
施設を供用しながら 既設構造物の液状化対策が可能に! 新しい液状化対策工法『浸透固化処理工法』

概要

地震時に発生する地盤の液状化対策として様々な地盤改良工法が採用されています。しかし、従来の工法では、大型の施工機械を必要としたり施工時に振動・騒音・地盤変位が発生して、既設構造物の周辺部および直下の地盤改良が十分にできないという問題がありました。このような問題を解決するために、『浸透固化処理工法』を開発しました。

浸透固化処理工法は、薬液注入工の二重管ダブルパッカー工法に工夫を加えた工法であり、緩い砂地盤に特殊シリカを浸透注入・固化することで液状化を防ぎます。また、小型の施工機械で施工可能であり、浸透性の高い恒久薬液を注入することにより液状化対策の必要な箇所だけをピンポイントで改良できます。これらの特性から、注入による構造物への影響は小さく、施設を供用しながらの施工が可能となり、経済性の高い工法となります。

本工法は第3回(平成13年度)国土技術開発賞・優秀賞を受賞しております。



原理

注入材を浸透注入することで、砂地盤の間隙水を恒久薬液に置き換えます。その後注入された薬液がゲル化し、粘着力が付加され地盤のせん断強度も増加します。従来の液状化対策の考えにない、砂の間隙の特性を改良し、液状化を防止する新しい工法です。



特長

既設構造物直下の液状化対策が可能!

浸透性の高い恒久薬液を注入することにより、施設に影響を与えることなく、供用しながらの施工が可能です。

場所を選ばない施工性!

小型のボーリングマシンを使用するため、小さな作業面積で施工できます。また、曲がり削孔を併用することで、離れた場所から任意の位置を改良することも可能です。

浸透固化処理工法

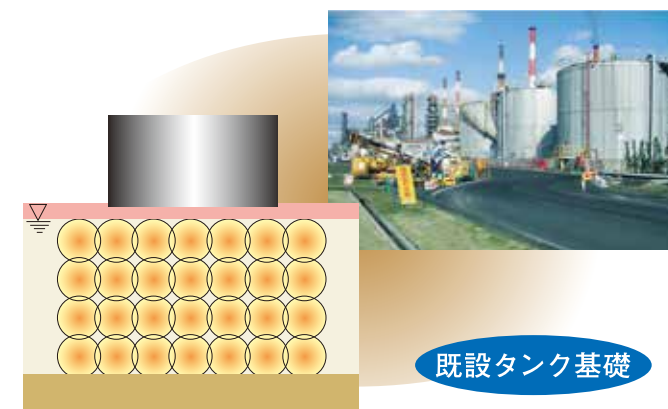
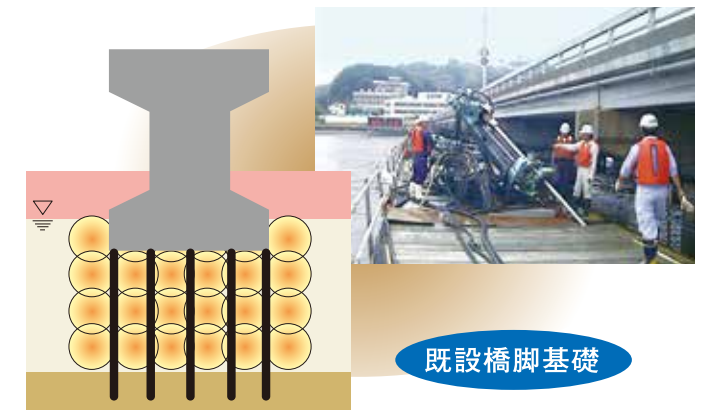
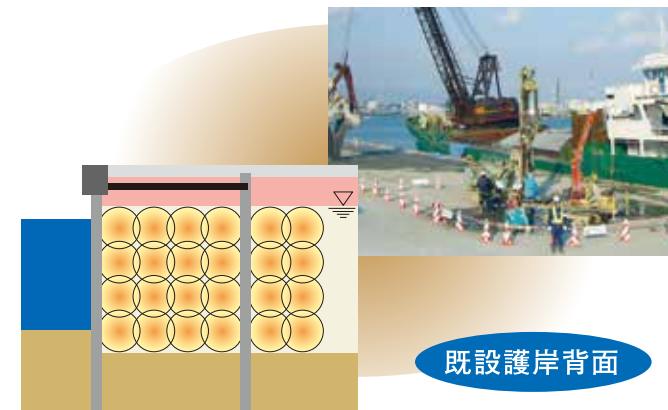
地盤の強度が増加!

土粒子間で固結した薬液は地盤に粘着力を付加します。このため、地盤のせん断強度が増し、構造物に作用する地震時の土圧を低減します。

経済的な施工!

通常の薬液注入工に比べ、大型の改良体ができるため削孔本数は大幅に減り、また、安価な注入材を使用するため、経済的な施工が可能です。

適用例

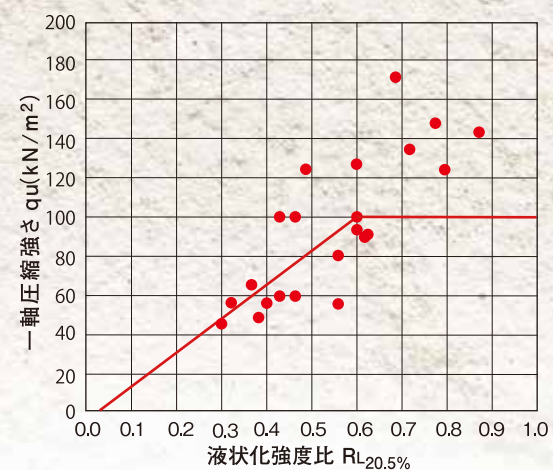


改良土の特性

強度特性

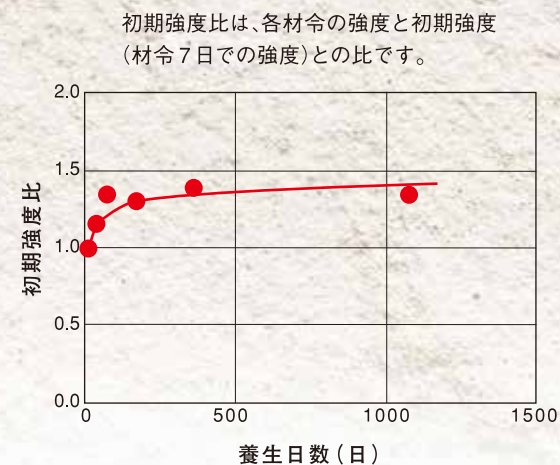
浸透固化処理工法では、砂の間隙が水からゼリー状の物質に置換されます。このため、地震時に発生する間隙水圧の上昇が抑制され、液状化が発生しません。

右の図は、液状化強度比(RL_{20})と一軸圧縮強さの関係を示しています。地盤が液状化しない液状化強度比(RL_{20})は、通常0.3~0.5の範囲といわれていますが、本工法を採用した場合、改良後の一軸圧縮強さは50~100kN/m²で液状化防止に十分な強度を発現できます。



恒久薬液

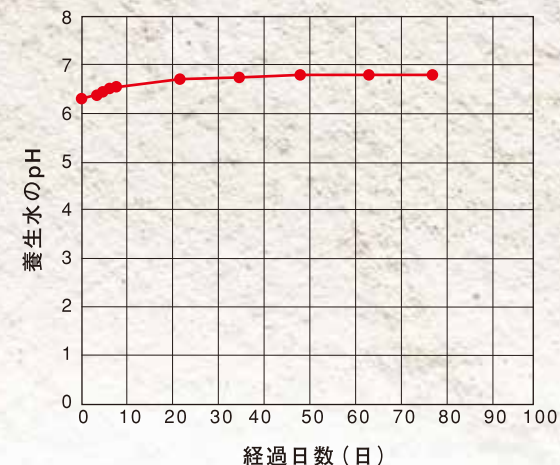
従来の水ガラス系の薬液は長期耐久性が小さく、主に仮設工事に用いられていました。浸透固化処理工法では、特殊な脱塩処理を行うことにより、劣化の原因となる薬液中のナトリウムイオンを除去しました。このため、本設材料としての耐久性を確保することができます。なお、1981年の施工から16年および38年経過した改良土の採取を行い、長期にわたり経年的な強度低下傾向が認められないことを確認しています。



環境への影響

本工法で使用する薬液は、【薬液注入工事による建設工事の施工に関する暫定指針】で認められている水ガラス系の薬液です。本薬液には重金属や劇物などの有害な物質を含んでいません。また、マウスやあさりを使用した毒性試験でも本薬液の安全性が確認されています。

右の図は、室内試験で養生水のpHを測定した結果です。なお、原位置においても同様に固結領域から酸性成分の溶脱はなく、周辺地下水のpHはほとんど変化がなく、ほぼ中性です。



施工方法

1 削孔

小型のロータリーパーカッション式ボーリングマシンを使用し、φ96mmのケーシング削孔を行います。



2 注入外管建込み

ケーシング内に、注入外管を継ぎ足しながら建込みます。その後、ケーシングを引き抜きます。注入外管は、改良径に応じた間隔で注入口(特殊ストレーナー)が設けられており、注入口の上下には、特殊スリーブパッカーを有しています。



3 スリーブパッカー注入

注入外管と地山の隙間からの薬液逸走を防ぐ目的で行います。ダブルパッカー式の注入装置を挿入し、注入口の上下の特殊スリーブパッカーにセメントベントナイトを注入します。



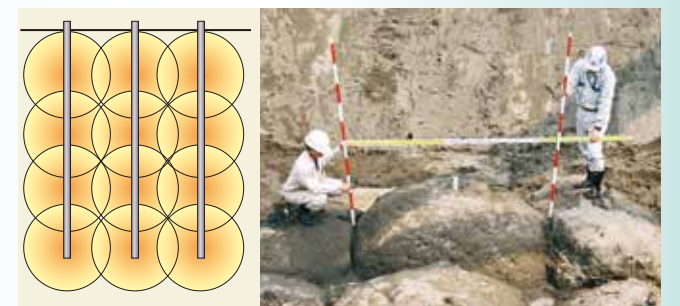
4 薬液注入

注入装置を挿入し、所定の注入口にセットして薬液を注入します。注入時の圧力、速度、濃度管理は集中管理装置(CCS)を使用してコンピュータで集中管理・制御を行います。



5 施工終了

地盤内に直径φ2.0~2.5mの球状の改良体が造成されます。



曲がり削孔による浸透固化処理工法

概要

本工法は、滑走路などを対象とした離れた場所から施設直下の液状化対策を可能とする技術です。従来の曲がり削孔システムに比べて押込伝達力および引張強度が大幅に向上し、160mを超える長距離曲線削孔を安全・確実に施工することを可能としています。また、固定式位置検出装置によるリアルタイム計測と、挿入式高精度管路計測装置の併用により、より高精度な施工を実現しました。

特長

施設の供用を止めない！
限られた施工スペースや対象施設から離れた場所からの施工が可能です。



効率的な施工が可能！
160mを超える長距離削孔を可能とし、1本のラインから多数の改良体造成が可能です。

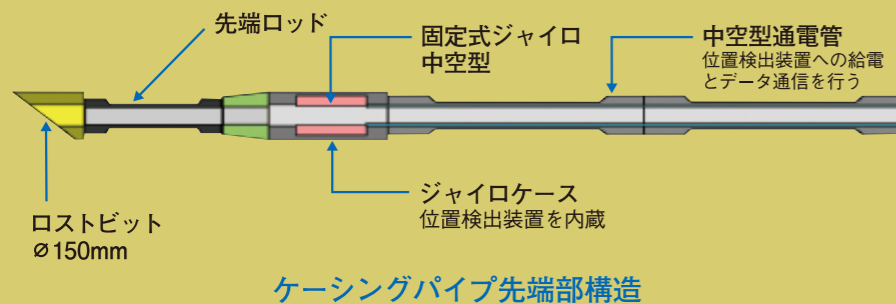
障害物を回避！
3次元の曲線削孔と高精度位置検出システムにより、障害物を回避しての施工が可能です。

施工管理

削孔ロッド先端に取り付けた固定式ジャイロによりリアルタイムに位置検出を行います。それにより正確な誘導削孔を行うとともに、送し巻取り装置を併用した挿入式ジャイロを用いて高精度な位置検出を行い、削孔軌跡を管理します。



曲がり削孔機 (MCD-10改)



ケーシングパイプ先端部構造



薬液注入

曲がり削孔による施工方法

1 削孔機セット

曲がり削孔機を所定の位置にセットします。



曲がり削孔機 (クローラ型)

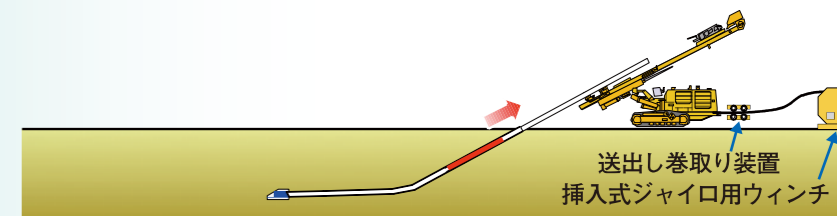
2 削孔開始

固定式ジャイロによってリアルタイムにビット位置および姿勢を検出しつつ削孔ロッドの姿勢を制御します。



3 挿入式ジャイロによる計測

曲線部は3～6m毎、直線部は9～18m毎に挿入式管路計測装置により位置検出を行います。計測結果から固定式ジャイロを補正し、引き続き削孔を行います。



送し巻取り装置
挿入式ジャイロ用ウインチ

4 注入外管挿入

所定の位置まで削孔した後、挿入式ジャイロを用いて削孔軌跡を計測します。先端ビットを土中にロストした後、削孔ロッド内に注入外管を挿入します。



注入外管

5 ケーシングパイプ引抜き

注入外管を地盤内に残置し、削孔ロッドを引き抜きます。削孔機は次の削孔位置に移動します。



6 薬液注入

特殊スリーブパッカーにセメントベントナイトを充填・固化した後、先端の注入口より順次薬液を地盤内に注入します。

